# NPO ピースサポート協会 ニュース 第 11 号

ピースサポートとは「こころの平和支援」の願いが込められています。　2020 年（令和 2 年）4 月

発行　NPO 法人 ピースサポート協会
〒379-2143　群馬県前橋市新堀町 190 番地1
TEL/FAX　027-265-2277
E-mail：info@peace - sa.co
URL:http：//peace - sa. com

## 今こそ世界中、みんなで助け合って 新型コロナウイルスを げき退 しよう ！

新型コロナウイルスは 2019 年 11 月に中国武漢で発生が確認され、世界中に感染者が広がってしまいました。　国内でも集団感染、医療崩壊が大変心配されています。私たちは今こそ、家族助け合って、必ず 新型コロナウイルスを撃退しましょう！

**ポイント！**

① 家族助け合って思いやりを。
仕事の不安も自分を責めない家族を攻めないことです。理解し共感し支え合いましょう。

② 友達と情報交換。ストレス解消
自粛して家に居るとき、電話などで友達と情報交換することです。力が湧いてきます。

③不要不急の外出を自粛しよう。

## 令和元年台風 19 号 104 人死亡 3人不明 71 河川で決壊 8万棟余で住宅被害・・・被災地視察から学ぶ

### 群馬県　富岡市 内匠（たくみ）地区の土砂崩れで３人死亡！

台風 19 号で、群馬県富岡市の内匠（たくみ）地区では裏山の土砂が崩れて住宅８棟に流れ込み、３人が死亡した。10 月 12 日午後５時までの 24 時間に降った雨の量、県が設置した雨量計で 400 ミリ近くにのぼり、わずか１日で年間の降水量の３分の１に達した。富岡市はこの地区に避難勧告を出していなかった。
ついに群馬県に起きた富岡市の台風災害・・・。
10 月 24 日被災現地を訪ねました。突然土砂災害でなくなられた３名の方々の家、近隣の家々も崩壊してしまいました。
内匠地区に住み土砂から助かった若いご主人は呆然として･･･「本当に突然のことでした、死ぬかと思った。しかしお陰さまで生きている･･･。頑張るしかない」重々しい言葉から災害の厳しさが伝わってきました。
こんな時こそ、家族や地域の助け合いが一番大事なことなのだと痛感しました。

### 栃木県 佐野市 赤坂町、秋山川が氾濫！

10 月 12 日午前９時、秋山川が氾濫し、大きな被害が発生した。13 日のうちに水が引かず、わが家の被害の大きさを一夜明けた 14 日に初めて確認した住民は、「もう完全に元の生活には戻れないのかもしれない」と頭を抱えた。「１階は全て水没してしまった。道路などは市や国が片付けるのだろうが、家の中は誰もやってくれない」と悲痛な思い、決壊した所に住む斎川さん、「12 日は美容師だった妻さとみさん 60 歳が病院で亡くなり、黒服を準備して２階に避難した。泥水は窓上のシャッターまで押し寄せていた。自営業の空調の仕事も、妻の美容室も全滅です。この家も住めないだろうと思う・・・」突然の災害に困惑し、それでも生きていかなければならない現実の厳しさが伝わってきました。

### 宮城県丸森町　台風 19 号で 10 人が死亡し、１人が行方不明　*その中で、地区民生委員会長が 地区住民のいのちを救った！*

丸森町の民生児童委員支会長 佐久間新平さんを訪ねました。
佐久間会長は、100 世帯の住民を守るために防災緊急連絡網を作成し、地域の新年会、餅つき大会、お花見会などの行事を行い、高齢者やひとり暮らしの住民を、各班長が把握して「顔の見える地域づくり」を推進していました。
10 月 12 日の台風 19 号午後３時から、３回にわたり住民に避難を呼びかけ、100 世帯の住民のいのちが助かった。
佐久間会長さんは「やはり日頃からの声かけ、人間関係をつくることこそが大事」と力強く教えてくれました。
しかし「自宅は床上浸水 70 センチ、近所の６軒中４軒の家が土砂崩れで跡形もなく無くなってしまった。今は、住民と避難生活。どうしたらよいかわからない、頑張るしかない・・・」言葉から現実の重さが痛いほど伝わってきました。　*(R1.11.3～R2.3.8 訪問視察)*

### ◎令和元年大型台風 19 号の被害、新型コロナウイルス感染防止対策から学ぶもの。

3.11 大震災の東北被災地の方々は、９年過ぎた今も 47,000 人の方々が、仮設住宅等で助けあって生き抜いておられます。そして他地区から移住した復興住宅団地の新しい自治体、その住民の方々は自ら率先し主体となって、高齢者やひとり暮らしの方々への声かけ見まもり活動を、今も力強く推進しておられます。
　私たちは今こそ、決して人ごとでなく、まず家族が支え合い、自分が住む地域を、みんなで声かけ支え合い「顔の見える町づくり」をしていくことこそ、大事なことではないでしょうか。そして、地元の行政・自治会・老人会・民生児童委員・町民の活動が一つになって、助け合いの輪を拡げ、明るく住みよい地域社会づくりを推進していくことが求められています。みんなで助け合いの輪を拡げて参りましょう。
　令和２年４月　　NPO 法人ピースサポート協会　理事長　久保田光明　拝

*みんなで助け合いの輪を拡げましょう！*

# 地球温暖化あと8年半で大絶滅のはじまり！「否が応でも、変化は訪れる」

高校生の環境活動家　グレタ・トゥンベリさん(16)

*令和１年9月23日に、国連の舞台で 温暖化対策を涙で訴えた 演説 趣旨。*

「人々は苦しみ、死にかけ、生態系は崩壊しようとしています。わたしたちは今、大絶滅の始まりにいます」「あなたたちは裏切っています。わたしたちは許しません!」「今の放出のレベルのままでは、あと８年半たたないうちに、許容できる二酸化炭素の放出量を超えてしまいます」世界の首脳に、「もしあなたたちが本当に状況を把握し、それでも行動せずにいるのなら、あなたたちは邪悪です。あなたたちはみんな、わたしたち若者に希望を求めてくる。よくもそんなことができますね! わたしたちは、大絶滅の始まりにいます。それなのに、あなたたちが話すのは、お金や永続的な経済成長というおとぎ話だけ! よくもそんなことを !」

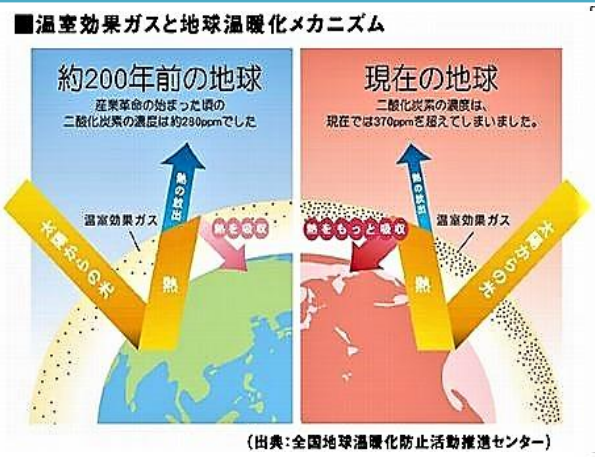
望もうが望むまいが変化が訪れようとしています。

トゥンベリさんによると、この目標を達成するのはこれまでになく難しくなっているという。「30 年以上にわたって、科学は極めて明白でした。必要な政治、解決策がまだ全く見えないのに、どうしてあなたたちは問題から目をそらし、ここへ来て、十分やっているなどと言えるんですか？ 」と、トゥンベリさんは語った。

16 歳のトゥンベリさんは、自身を含め世界中の若い世代が政府の責任を追及し続けると表明した。「あなたたちを見逃すつもりはありません。今、ここでストップをかけるのです。世界は目を覚ましつつあります。否が応でも変化は訪れるのです。」

十分な温暖化対策をしてこなかった各国への怒りをストレートに伝え、「もう逃がさない」 と迫った。

グレタ･トゥンベリさん(16)が
国連気候行動サミットで演説



## 令和元年度の活動報告

事業報告･活動計算書はＨＰ http://peace - sa.com をご覧ください。または事務所で閲覧できます。

| 令和元年度　支援活動の報告　温かいご支援ありがとうございました。 | |
|---|---|
| 支援活動 | 内　　容 |
| ワカメ昆布支援活動 | 3,730 袋　（振り込み済み） |
| 復興支援活動 | 福島県被災地・宮城県雄勝町　（￥459,000） |
| 人材育成事業 | ダルマ塾　４月～毎月１回（参加者 171 名） |
| 講演会事業 | 前橋市, 足利市(参加者 126 名) |
| 海外支援活動 | ミンダナオ・子ども里親支援 |
| 理事会・役員会 | 理事会 年２回　　役員会 年６回 |
| 支援者サポーター | １１５名 |

**前橋市･足利市で「被災地支援報告・歌声サロン」** R1.6.22～30

年に一度、足利市と前橋市下川淵公民館で開催する「被災地支援活動報告会」、多くの皆さまと「歌声サロン」をとり入れて、懐かしい歌謡曲をみんなで歌い、とても楽しい時間を過ごしました。そして、被災地の現状を報告し、さらなる支援の大切さを噛みしめ合いました。皆さまと共に東北被災地の皆さまへの力になれていることに心から感謝でいっぱいです。

**「葉鹿町トラック市」** R1.6.2

毎年開催されるトラック市で、ワカメ支援を、樋口さんの支援グループが呼びかけてくださいました。多くの市民の皆さまのお陰さまで、あっという間に 240 袋もものワカメが完売されました。

**「桐生市駅まえ広場」** R1.5.4

桐生市市民活動センター「ゆい」の近藤センター長さんの配慮により桐生駅前に於いて「ワカメ支援」を呼びかけました。多くの市民の皆さまのご支援頂き、２時間で 205 袋完売。ご協力有難うございました。

**「ダルマ塾」**は、生活上の問題を通して豊かな心を学び合い、生きがいある人生を歩むことが目的です。
感動と生きがいが生まれます。
日時：毎月第３土曜日
　　AM10:00～PM3:00
会場：足利市民活動センター
対象：平和支援活動へ意欲のある方、
　　誰でも参加できます。

*石巻市 雄勝町の 漁師さんを訪ねました。*　R2.3.8 ～ 3.9

*三陸 ワカメを食べて 復興支援の ご協力を お願いします！*

雄勝町立浜の自治会長さんや横江さん方を訪ねました。大震災から９年を迎えた皆さんは現在高台の復興住宅に住んでいます。被災地の人口は３分の１に減少し、新築された小中学校には十数名の生徒、町が成り立たない状態です。「しかし何とか力を合わせて頑張っています。本当に皆さまから支援を頂き有難い気持ちでいっぱいです」「今後ともよろしくお願いします」とお話を頂きました。漁業も成り立たず、経済的に追い込まれて自殺してしまう事件も生まれています。私たちは、漁師さん方の復興生活の為にさらに支援を拡げていきたいと思います。**ワカメ支援**のご協力をお願い致します。

*（下記の事務所へご連絡下さい。）*

## あなたも一緒にサポーターになりましょう！

年一口￥3,０００の支援で平和の支援者（サポーター）です。

ピースサポート協会は、多くの皆さんと共に、思いやりあふれる家庭や社会を拡げ、国内の被災された方々や、海外の貧困生活に苦しむ子供たちへ直接届く支援を推進しています。世界中の平和のために、私たちと一緒に平和支援のサポーターになりましょう。

*世界中の幸せは一人の人の心から*

**NPO 法人 ピースサポート協会**

事務所 〒379-2143 群馬県前橋市新堀町 190 番地１
TEL/Fax（027）265-2277 携帯 090-1113-9200
E-mail info@peace-sa.com　http://peace-sa.com